

海の幸ゆたかな海、はまなす咲く浜、開拓の汗がしみこむ大地を、軍靴で汚すな！

浜大樹通信

NO.43 2012/7/10 「浜大樹上陸訓練反対十勝連絡会」

◇ 事務所：帯広市白樺 16 条東 14-6-1(労連十勝 B)

◇ Tel.0155-34-1551: FAX.0155-67-4028

◇ 大樹安保/道労連十勝ブロック/十勝安保/帯広民商/

◇ 帯広原水協/帯広平和委/日本共産党十勝地区委/新婦人帯広

次々と迫撃砲を撃つ！ 「然別演習場」7/6

■ 7月6日(金)午前9時過ぎ、然別演習場のゲート前に新得青柳氏、士幌和田氏、原水協竹腰氏、平和委員会藤岡が集まりました。ゲートはしっかり施錠され、演習連絡案内板に何も記載がない。扇が原展望台に移動したが、真っ白な霧で何も見えない。駐車場には、既に第6師団の通信トラックが待機。アンテナ線を張り、危険と書かれた張り紙を張り始めました。「どうしたんですか」と尋ねると「電気が流れているんです」との答え。

まもなく霧の中から「トン」という音が聞こえ、しばらくして「パーン」という大きな音がし始めました。迫撃砲の発射音と着弾音だと分かりました。発射して着弾まで約30秒。霧が晴れてきて着弾地点の状況が見えてきました。鼠色に黒が混じった煙の色。午後1時までカウントすると84発。かなりの数です。



上陸訓練に抗議!38人参加! 「浜大樹訓練場」7/8

■ 午前6時半前、現地に着くと霧で真っ白な海、何も見えない。横断幕や垂れ幕をつける。町道には駐車禁止の標識がない。濃霧のためか7時から予定されていたヘリコプター訓練は始まらない。8時半、予定を遅らせて開会集会。主催者挨拶は竹腰氏、志民氏は町長への申し入れなどについて報告、共産党渡辺ゆかり氏、道安保橋氏が発言。藤岡事務局長が経過などについて報告。9時過ぎ、霧が晴れてきて沖合に停泊していた輸送艦の姿が見え始める。艦番号は4003、「くにさき」。(以下竹腰氏による監視記録から)10時10分過ぎ、LCACが海に。10時20分過ぎ、陸地から多用途ヘリ、OHヘリ、対戦ヘリ飛び立つ。対戦ヘリ2機が浜に戻りホバリング、長い。10時43分対戦ヘリ2機が海上を旋回して陸地へ、46分LCAC2艇着岸、抗議のシュプレヒコール。74式戦車陸揚げ(崖の途中で待機)。11時46分LCAC南に着岸。(暴力集団がやってくる)。ジープ1両、牽引高機動車4両陸揚げ。銃やロケット砲を持った隊員20人ほどが訓練場外に向けて警戒・攻撃態勢。口頭指示伝達が聞こえる「投降者がいたらただちに連絡せよ!」12時20分LCAC北に着岸。12時49分LCAC南に着岸。

■ 正午過ぎ、閉会集会を始める。竹腰氏から監視の報告。集会場からは見えない所で実戦的な訓練が行なわれていた! 矢臼別平和盆踊りや「講座:十勝の平和の歩み」について案内し集会を終えた。札幌から5人を含め、共産党・新婦人・民商・労連・平和委・年金者などから38人が参加。お疲れさまでした。終了後の後片付けを済ませ、立て看板を片付けながら帰途についたが、幕別の資材置き場に到着まで帰り道はとても眠かった。



(7月9日付「十勝毎日新聞」、10日付「しんぶん赤旗」に記事が掲載された) (写真は竹腰氏提供)